ホメオパシーの存在大

第15回日本ホメオパシー医学協会学術大会、10月18日、19日

会場は東商ホール

国内外から約一千名参集へ

由井会長

第15回日本ホメオパシー医学協会学術大会（JPHMAコングレス）は10月18日（土）、19日（日）の両日、東京・丸の内の東京商工会議所ビル4階、東商ホールにおいて「今こそ有事にそなえる食、心、命　すべてにホメオパシー」～心・体・環境・災害をどう乗り越えるか～をテーマに開催する。

「今こそ有事にそなえる食、心、命　すべてにホメオパシー」として大会長の由井寅子JPHMAインナーチャイルドを纏し　生きとして生けるものが　その日を過ごせるよう　自給自足をすすめ　いかなるときも　希望をもって生きるために　インナーチャイルドを纏し　生きとして生けるものが　その

ものらしく生きられるように　この国がこの国らしくあるために　ホメオパシーを使おう」と語っている。

今回で15回目を数える日本ホメオパシー医学協会学術大会は、日本経済人懇話会、2013年に引き続き、次世代のためのシンポジウム2014を開催することになった。

が、毎年約1千名の方々が参加している。国も医療費の負担が大きく消費税をアップさせ、社会福祉対策を充実させようとしているが、厳しい情勢に変わりはない。さらに現代医学のツケ、防腐剤、農薬漬けの食品や問題になっている中国からの食品等で健康を害している人が急増していることを踏まえ、漢方や統合医療が注目され始めている。統合医療は科学的な裏付けがあるものとしているが医学界のほとんどが症例を重視しており、実際に効果した療もあるので、そうした医療を再検証する必要も望まれるところである。

予防ワクチンなどで難病になっている子供や女性に現代医療は最も遠ざけている例も多い。医療機関の少ない国々は同種療法「ホメオパシー療法」を重宝に、普及に力を注いでいる。国家の医療関係予算増大を食い止めるためにも「ホメオパシー」の存在は大きい。

今年の学術大会がその礎になるものと期待されている。

参加申し込みは、一般財団法人日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）事務局が8月に移転するため8月24日まで電話03（5779）7411、FAX03（5779）7412、8月27日から電話03（5979）3073、FAX03（5797）3074。

8・26 シンポジウム

ベルサール汐留

世界の第一人者勢揃い

「次世代のためのシンポジウム2014」～地球温暖化からの脱出！『カエルの悲劇』をくりかえさない～が8月26日午後1時30分から東京・中央区のベルサール汐留において開催される。

主催は日経懇

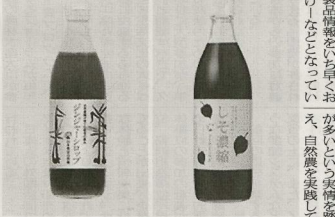
主催は一般社団法人日本経済人懇話会。

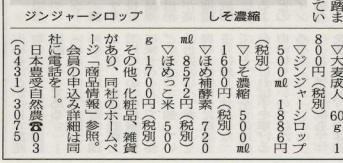
シンポジウムの講師は上記者・地球環境の第一人者・山本良一東京大学名誉教授、分子生物学者・遺伝子工学の第一人者・村上和雄筑波大学名誉教授、科学研究科特別講師。宮脇昭横浜国立大学名誉教授、生態学者・植林の第一人者・CSR専門家の岡本亨二東北大学大学院環境科学研究科特別講師。

会費は5，000円。懇親会費7，000円。

申込は一般社団法人日本経済人懇話会事務局　電話03（5801）8901　〒121-7379　同懇話会の神谷光徳まで。

なお、すべての生き物のための地球、その地球は温暖化の影響を受け、2015年までに地球表面温度が2℃上昇する可能性があり、温暖化地獄に突入するといわれており、まず、すべての生き物のための地球の環境破壊が制御不可能な状況になるために、今こそ、立ち上がり、志のあるものが集い、船出をする時であると決意いたしました。このシンポジウムでは、私たちが地球の循環の中で、調和を保ち健やかに、それぞれの人生を送るために、どのような生き方、技術、経済、地域活動をしていったらよいかをお伝えし、直ちに行動できるアイデアを提案したいと考えております。地球環境の現状について、今や人類を救えるのは日本人に与えられた精神性であること、地球の表面温度の上昇を防ぐために木を植え続けること、各分野の世界的権威の3人の先生のご指導をいただきます。美しい地球、生きとして生けるものの全ての命のための地球を貢献を持って後世に残せるための、一人ひとりがいただきたいと強く願っております。


野菜セット


ジンジャーシロップ

しそ濃縮

安心・安全な農産物 会員募集中!!

特典も豊富 日本豊受自然農

農薬と化学肥料をまったく使わず、作物と土壌の生命力を最大限に引き出す「ホメオパシー自然農法」を実践している農業生産法人日本豊受自然農㈱＝由井寅子代表＝函南本社・静岡県田方郡函南町平井174-61、電話055（945）0210　洞爺支社・北海道有珠郡壮瞥町仲洞爺60-1、電話0142（66）7100は現在、会員募集を行っている。

会員の特典抜粋

会員特典は①雑誌『豊受』1年分をプレゼント②ショッピングでポイント還元③ホメオパシー自然農法の講習会に参加できる④商品の入荷・セール・新製品情報をいち早くお届け―などとなっている。

食原病が多い現代

安心・安全な農産物に徹している訳は、日本の農生活の状態がかなり危険な状況で腐敗菌入りや食品添加物、農薬・化学肥料を使うことによって硝酸態窒素が多い農産物が横行、そのため食原病が多いという実情を踏まえ、自然農を実践している。

ハーブ薬草酒も

農業生産法人日本豊受自然農㈱では、農薬・化学肥料を使わずに75種類の植物を発酵させた「アクティブプラント（植物発酵液）」やハーブ薬草酒である「マザーチンクチャー」、生命体が必要とする必須微量元素からつくられた「ディッシュソルト」、そしてホメオパシー療法で用いられる「レメディー」を使い分け、作物と土壌の生命力を最大限に引き出す「ホメオパシー自然農法」を実践している。

定期的に講習会行う

また、次の時代を生きぬくため自分の食べるものは自分でつくる「自給自足」の知恵と技術を身につけておく必要性があるとし、作物の生命力を最大限に引き出す自然農業の技術を、家庭でも役立てられるために定期的に講習会を開催している。

毎週水曜日出荷

商品は『季節の野菜セットM』（数量限定、完全予約制、売り切れ御免）＝1857円（税別）毎週水曜日出荷。

『たくあん漬け』＝5L（税別）自家採種の大根を使用

『切り干し大根』＝4（税別）野菜セット＝同梱可能

『黒大豆みそ』＝1（税別）野菜セット＝同梱可能

加工食品

『大麦友人』60g　1800円（税別）

『マジンジーシロップ』500ml　1886円（税別）

『しそ濃縮』500ml　1600円（税別）

『ほめ補酵素』720ml　8572円（税別）

『ほめっこ米』5000g　17000円（税別）

その他、化粧品、雑貨があり、同社のホームページ「商品情報」参照。

会員の申込み詳細は同社に電話を。

日本豊受自然農☎03（5431）3075